



ぬりんちゅ つうしん

塗人通信

☆トーションリフォームがお客様に贈る 新感覚のニュースレター☆

激旨ランチ 食べある日記 cafe WILD CHICKEN

クリスマスツリーで有名な宮ヶ瀬湖湖畔にある、おしゃれなお店、カフェワイルドチキンをご紹介します。

宮ヶ瀬湖の駐車場に車を停めて、敷地内を10分以上歩かなければ到達できない、ちょっと変わった立地のお店です。

お勧めは軍鶏ラーメン！塩味と醤油味があって、好みの分かれるところですが、私は醤油味が好きです。

軍鶏を使ったメニューがメインのお店ですので、チキングリルや、炭焼き親子丼、なども絶品です。

ツリーの横の辺りですので、散歩や観光を楽しみつつ立ち寄るのがよさそうです(#^#)



住所 清川村宮ヶ瀬
951-3
ランチ予算
1000円～2000円
おすすめメニュー
軍鶏ラーメン

古書探究 鹿の王 著・上橋 菜穂子

「精霊の守り人」で知られる、上橋菜穂子さんお得意のファンタジー小説。架空の世界で、ヴァンとホッサルという二人の男と少女ユナが、過酷な運命に立ち向かう物語。

東平瑠(ツオル)帝国にとらわれ、岩塩鉱で奴隷となったヴァン。ところが不思議な黒犬の群れにおそわれ、謎の病気が流行してしまう事で自由の身となる。

ひとり病気から生き残ったヴァンは、逃げる途中、幼い少女を拾い、ユナと名づけて育てる事にする。

一方、若き天才医師ホッサルは、その病気が、伝説の病「黒狼熱(ミツアル)」だと考え、治す方法を見つける為、ヴァンを探そうとするが、..

伝染病との戦い、部族間、国家間の争い、鹿の王とは？

こういう特殊な設定のファンタジーは読む人を選ぶかもしれませんが、世界観にハマってしまうと、心地よく読む事が出来ます。長編なので秋の夜長にいかがでしょうか？



塗装屋社長が雨漏りを考える 塗る事よりも大切な事 No22

今回は、外壁に貼られているタイルの目地についての考察をしていきたいと思えます。

鉄筋コンクリートの建物で多く使用されている外壁タイルですが、木造住宅でも部分的に使用されるケースは多くなってきました。

外壁タイルにおいて注意が必要なのが「目地」です。

特に右の写真のように、目地がタイル表面に凹んでいる「深目地」となっていると、写真のようにタイルが脱落してしまう危険性が高く、フラットな目地に比べて水が溜まりやすいので、雨漏りのリスクが高くなってしまふと考えられます。



そもそも深目地というのは、タイルを、立体感のあるレンガのように見せたいという、デザイン優先で行われている施工です。

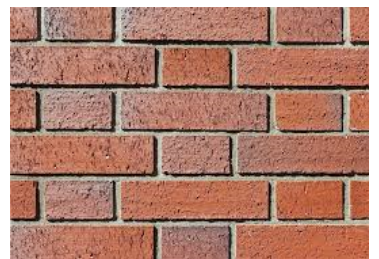
深目地は、目地セメントを塗り込むことで、フラットな仕上げにする事が可能です。

目地をフラットにすれば、脱落の危険性も低くなり、雨漏りのリスクを軽減させる事も期待できます。

また、タイルの表面にクリア塗装をする場合も、深目地ではなく、フラットな目地にしてから塗装を行う事が好ましいと考えられます。

深目地では細部まで均一に塗装をする事は、不可能だからです。

例外として、タイルを飾りで張っているだけの場合は、この限りではありません。木造住宅で良く見られますが、構造の見極めは重要かと思えます。





～省略語の意外な正式名称～

今回は小ネタとして、意外と知らない省略語の正式名称を、10個羅列してみます。さて、おいくつお分かりですか？

- ① 切手→切符手形(きりふてがた)
- ② 電卓→電子卓上計算機
- ③ 英検→実用英語技能検定
- ④ 食パン→主食用パン
- ⑤ 馬券→勝馬投票券
- ⑥ 教科書→教科用図書
- ⑦ 国体→国民体育大会
- ⑧ 漢検→日本漢字能力検定
- ⑨ 茶番→茶番狂言
- ⑩ 軍手→軍用手袋



現場の本音をぶっちゃけます！

～現役職人営業マン

田中彪の奔走日記～ 第12回



こんにちは、今回のお題は塗料って何で塗っているの？というコラムです！

外壁塗装の場合、弊社の場合、9割以上はローラー施工です。

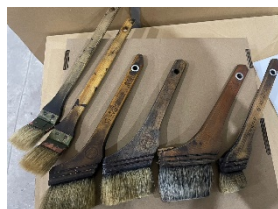
ローラー施工のメリットは、塗料を均一に配り易く、塗膜の厚みもしっかり確保し易い、一度に沢山塗れるです。

デメリットは、刷毛に比べて飛散が多い、細かい所を塗装するには向いていない、ローラーは使い捨ての為コストがかかる、などです。

刷毛のメリットは、手入れ次第で長く使える、一つの刷毛に愛着が湧く、細部の塗装に向いている、などです。

デメリットは、刷毛を馴染ませるのに時間が掛かる、洗うのが面倒、技術を身につけるのが難しい、現在の住宅では使う場所が少ない、などです。刷毛の方が、若干デメリットが目立ちますね(´^A´)ですが、ローラーも刷毛もどちらも無いと塗装はできません。状況に合わせて、ローラーや刷毛を、適材適所で選別しています。

時代の流れと共に、道具や施工方法と言うのはどんどん進歩していきますが、古き良きを大切にしつつ、その時代に合わせた工事を行っていきたいと思います。右の写真は私が長年愛用している刷毛です。一つの道具を長く使うのが、好きなんですよね。



塗人コラム

☆ペンキ屋社長のお仕事日記☆

№57 「好川産業の工場見学」

好川産業と言えば、塗装職人とは切っても切り離せない、刷毛を制作している老舗の超有名企業です。

マルヨシブランドで販売されており、安価な量産刷毛から、手作りの高級刷毛まで多種多様です。

その中でも、刷毛職人が一本一本手作りにしている高級刷毛は素晴らしく、塗料のふくみ、掃き出し、まとまり、直線性、耐久性、全てにおいて優れた刷毛です。

右の写真は、刷毛の製造工場での作業の様子ですが、刷毛に使用される毛は、主に動物の毛ですので、一本一本にバラつきがあります。



毛の向きをそろえて、長さを均一にし、綺麗に束ねて、先端の処置をして、持ち手の部分で挟んで縛り、持ち手に焼き印を押して完成！



と、一口に言うと簡単そうですが、各工程に熟練の職人さんの、繊細な技が光っていました。



こんなにも手間暇かけて製造されたものだと知らずに使用していましたが、今まで以上に刷毛は大切に扱わなければならないと思いました。



因みに私の好きな刷毛は、「宇宙」という刷毛です。この宇宙も、この工場で作られていたとの事でした。

宇宙の一般的なサイズの20号は、4000円位の価格で販売されていますが、値段の高さも納得できました。



最新の工事写真を更新しているホームページが大好評です。
過去の施工例も満載！
毎日たくさんのアクセスをいただいております！
是非ご覧ください

塗人-てっちゃんこと社長の田中です



マイブームは「みのぶまんじゅう」



神奈川県知事許可(般-30)第79168号

(株)トータルリフォーム

相模原市南区下溝1750-3

TEL 0120-775-388

お見積り無料！お気軽にお問い合わせください！